

| | | | |
|------|-----|--|-------------------|
| 第2学年 | 美術科 | 使用する教材： ・教科書 ・美術資料 ・レタリングとポスターの資料 ・デザインセット ・クロッキー帳 | 担当教諭 出口 康宏 |
|------|-----|--|-------------------|

学習目標

| |
|---|
| 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 |
|---|

通知表のつけ方

| 評価の観点 | | 評価材料 |
|---------------|---|---|
| 知識・技能 | 形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解している。 造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。 | 定期テスト、ワークシート アイデアスケッチ、作品 自己評価表、授業観察 |
| 思考・判断・表現 | 感性や想像力を働かせて豊かに発想し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想を練っている。 感性や想像力を働かせて、美術作品などからよさや美しさなどを感じ取り味わったり、美術文化を理解したりしている。 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現の学習に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習に取り組もうとする。 | |

授業計画

| | 単元 | 学習内容 | 付けたい力 | 備考 |
|-----------|--------|-------------|--|----|
| 前期（4月～9月） | 【鑑賞】 | ○線で描く | ○単純な作業から出来上がる不思議なデザインを味わうことが出来る。 ○偶然の効果や技法を組み合わせる効果的にあらわすことができる。 ○あらわされた不思議な世界や表現の工夫を話し合うことができる。 ○お互いの作品を鑑賞し、線の表現の面白さを味わうことができる。 | |
| | 【鑑賞】 | ○情報を整理して伝える | ○ひと目で内容が伝わるデザインに注目することができる。 ○身の回りのマークの特徴について話し合うことができる。 | |
| | 【絵・彫刻】 | ○自分の印を石に彫る | ○自分らしさをデザインで表現することができる。 ○意図が多くの人に伝わるように見通しをもって表すことができる。 ○材料の性質を生かし、機能的なデザインを考え、イメージを形にすることができる。 ○お互いの作品を見せ合い、表現の工夫について話し合うことができる。 | |

| | | | | |
|------------|----------------|--------------|---|--|
| 後期（10月～3月） | 【鑑賞】 | ○ルネサンスの美術 | ○ルネサンス時代の美術について理解を深める事が出来る。 ○ルネサンスの三大巨匠の絵から、遠近法など絵画の技術を知り、絵に隠された物語を読み取り話し合う事が出来る。 | |
| | 【絵・彫刻】 【鑑賞】 | ○名画に挑戦 | ○名画を鑑賞し、絵の中に隠された物語を読み取ることが出来る。 ○それぞれの名画について、時代や文化に対する理解を深めることができる。 ○対象をしっかりと観察し特徴や美しさに気づくことができる。 ○形や色の使い方や表現の工夫について話し合うことができる。 | |
| | 【鑑賞】 | ○感じたことを話し合おう | ○日本の美術や伝統と文化に対する理解を深めることができる。 ○阿修羅像など日本の美術作品を見て感じ取ったことを話し合うことができる。 | |